

東日本大震災メモリアル day2017（みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会）



全国の防災減災教育活動に取り組む高校生らが一堂に会し、未来に向け活発に意見を交換し合うプロジェクト「東日本大震災メモリアル day2017」が多賀城高校や多賀城市内、仙台市内を会場に行われました。

「平成 29 年度東日本大震災メモリアル day2017」（みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会 主催:宮城県教育委員会 主管校:宮城県多賀城高等学校）が 3.11 を前にした 3 月 3,4 日（土,日）全国の高校生 12 校 26 名、県内高校生 13 校 120 名余が集い合い、盛大に開催されました。

1 日目（3/3）は、まず被災地を巡る「被災地スタディツアー」からスタート。震災遺構である仙台市立荒浜小学校と南蒲生浄化センターを見学しました。荒浜小学校では震災犠牲者に黙祷を捧げたあと、当時の同校校長先生であった川村さんの案内で見学。荒浜小学校には 2 階部分まで津波が浸水（浸水高 7.8m）し、地元住民と児童・教職員の 300 人余りが避難しました。当時の津波襲来の恐怖と避難誘導の様子を詳細に語っていただきました。



また、南蒲生浄化センターでは、ポンプ棟を直撃した津波の威力を実感するとともに、水道や電気のほかに下水道も重要なライフラインであることを再認識しました。

1 日目のメイン会場であるホテルキャッスルプラザ多賀城に移動し、開講式と基調講演、ワークショップなどを行いました。

開講式では、主催者である高橋仁宮城県教育委員会教育長があいさつ。「皆さんもご存じのように、防災・減災に関しては“答えが一つではない”ために、まさに人間の英知を結集して取り組んで行かなければならない分野であり、“命と生活”を守るこれらの学習は、まさに人間生活の根源に関わる場所です。」とした上で、東日本大震災の経験・教訓を継承し未来の減災に貢献していくことなど本研修会の目的が伝えられました。



歓迎のあいさつに立った宮城県多賀城高校の佐々木克敬校長先生は、「今回県外から参加した学校は、それぞれの地域で素晴らしい活動をしている学校です。また、今年からは宮城県内の高校生も参加し、被災地から発信できる活動を紹介する機会として当研修会を開催しました。」とした上で、「この二日間はそれぞれの地域に根ざした活動をお互いに知り、様々研鑽し合い、有意義な研修会としていきましょう。」と呼びかけました。



開講式に引き続き東北大学災害科学国際研究所の今村文彦所長による基調講演が行われました。今村先生からは、科学技術に裏付けされたデータ等を使った大震災のメカニズムの説明や、地震発生直後の緊急災害情報に関するトレードオフについてのわかりやすい解説がありました。そして、「分野を超えた多角的な側面からの研究と連携がよりよい安心・安全な社会を拓いていけるのではないかと思います。」と、この研修会に対する期待のことばをいただきました。

基調講演後には「被災地スタディツアーから学ぶこと」をテーマに、参加した高校生が16のグループに分かれワークショップが行われました。参加した生徒からは、「今まで以上に直接意見を交換できる場ができ、いろいろな考え方を学ぶことができました。また、実際に被災された現場を見たことで、防災・減災に対する深い知識を得られた気がします。」という感想が聞かれました。代表グループによるクロストークでワークショップが締めくくられました。



2日目(3/4)は、県内外の各校と多賀城高校災害科学科1,2年生によるポスターセッションが行われました。各校とも防災・減災を切り口とした様々な発表をする中で、経済問題や社会問題など多角的な視点で研究した学校もあり、盛会となりました。



「様々な発表を聞いて、自分たちにはない新しい発見や考え方を共有できたことがよかった。県内でも県外でも震災や災害について真剣に考え、復興への道についても研究してくれている高校生がたくさんいることがわかってうれしかった。」(災害科学科1年生)という生徒の声が寄せられました。講評に立った兵庫県立舞子高校の谷川彰一校長先生は、「今後は、様々な人々に防災・減災の取り組みについて興味・関心を持てるようにしていかなければならない。危惧されている南海トラフ大地震では最大32万人の犠牲者が予測されているが、人々の防災減災意識を高め、備えをより充実させれば約98%が助かるとの想定もある。したがって、ここにいる防災ジュニアリーダーの皆さんには防災減災に向けたさらなる取り組みと活動が求められている。それぞれの学校や地域で今後の活動を大いに期待します。」と語っていただきました。

ポスターセッションの後、「みやぎ防災ジュニアリーダー」の認定証授与式があり、県内高校生に認定証が授与されました。代表で塩竈高校の高橋咲楽さんが授与し、防災ジュニアリーダーとしての抱負を力強く語っていました。

午後からは、多賀城高校生の案内で多賀城市内を巡る「まち歩き」を実施。二日間で培

った友情を抱きながら、お互いの今後の活躍と再会を期して研修会を終えました。

